

一緒にバナアを作りませんか

吉川悦子

昨年六月に、静岡平和委員会主催の沖縄への平和ツアーに参加しました。

はじめての沖縄旅行。若い頃『♪ 沖縄を返せ ♪』をよく歌った事を思い出したり、『沖縄の太陽』等々事前に読んで大きな期待を胸に出掛けました。まさに“百聞は一見にしかず”で、大きな衝撃と感動を覚え、たくさんさんの悲惨な歴史、特に長く苦しい闘いを知る事ができました。

現地の人へ「私達にしてほしい」がありますか。との問いに「国を変えてほしい。」と言われた時、まさにその通り、国を変えなければ、沖縄の人達の平和もないと痛切に感じ、みんなでもっと頑張つて、国を変えなくてはと思いました。

辺野古は、今まで新聞で

もニュースでも知ってはいしたが、座り込みが私達の行った日に3651日目となると聞き、まさに十年もの長い間、毎日座り続けてきたんだと、衝撃を受けました。なぜそんなに長い間、ねばり強く続けてこられたのか、私達の頭では、考えも及ばないぐらいすごい事で、いたく感動しまし

た。と同時に、安穩と暮している自分が、申し訳なくなりました。辺野古の女性の方に、「私達にできる事がありますか。」の問いに、「シートにガバツと大きな字で書いたバナア(横断幕)を送ってほしい。」と言われまし

セージも三人で考え、静岡平和委員会、新婦人静岡、静岡合唱団なかまの名前で作りしました。

2、3枚書いては、ペンキが垂れないように外へ持ち出し、ロープを張り、ひもや洗濯はさみで吊るして乾かします。十数枚作り、今まで四回送りました。

少しづつ協力してくれる人も増え、前回は吉見ハルカさんがメッセージを考え、て参加してくれました。その中の一枚を紹介します。

又、途中で参加してくれた二人が辺野古へ行きたいと言いつ出し、六月に四人で沖縄へ行ってきました。

みなさん、一緒にバナアを作りませんか。カンパもシートも、ひも付けも、参加者大歓迎です。翁長知事も頑張っています。みんなでも、カンパでも、集会に参加するでも、できる事を考え、沖縄の支援をしていきましょう。

◇付記◇

シートのひも付けもたいへんな作業ですが、とても丁寧につけて下さり、中には病をおして付けて下さる方もいるなど、みなさん、沖縄への思いを込めて頑張つて下さることに頭が下がります。

吉見ハルカ作

へんなやつらが
のっしのっしとやってくる
ここに新基地なんかいら
のーとさげぼう NO NO
うちなんちゅもジュゴンも
みんなみんな
をこつているぞ！ 怒 怒
まっさおな海と空
もうこれ以上
ろくでもないことするな
うつくしい空と海に



↑辺野古のフェンスに結びつけられた、シートで作ったバナア

はずすことを仕事にしている若者もいるそうです。

はずされても、はずされても全

国からみんなが送れば負けない。

「静岡に帰った

らシートを集めてバナアを送ろう」と、話はまとまりました。

帰静後、松下さんが中心になり、シート、シートにひもを取り付ける人、カンパを募り、ペンキや刷毛を買って、バナアを作る準備が整いました。

最初は、夏の日差しの強い中、松下さんと千葉さん、私の三人で、静岡合唱団なかまの稽古場にブルーシートを一枚敷いて、ペンキを水で溶き、刷毛でメッセージを書いていきました。メッ

バナア作り (次回)
4月26日 (日)
午前10時～
合唱団なかま稽古場